

# Koyo Jr. Monthly Times



和歌山県立向陽中学校

令和3年2月号

## 次世代エネルギー授業を行いました

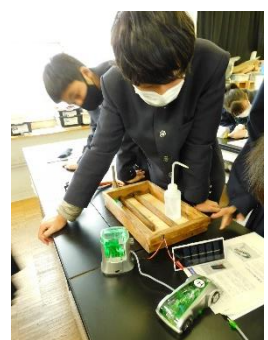
和歌山県沖に確認されているメタンハイドレートについて、中2の環境で授業を行いました。未来のエネルギー源として期待されており、これを取り出すことができれば、環境に優しく、外国にも依存しないことから、国としても力を入れているところです。2時間のプログラムの内、前半では、東京海洋大学の青山准教授によるオンライン講義を受け、基礎的な内容についてレクチャーを受けました。青山准教授は、毎年串本沖で海底から吹き出しているメタンを測定し、埋蔵量について調査・研究を行っています。後半では、和歌山工業高等専門学校<sup>（和歌山工業高等専門学校）</sup>の綱島先生を講師に迎え、メタンハイドレートを実際に触ったり、燃焼実験を行ったりして理解を深めました。生徒は冷たくてパチパチとはじける物質に、興味津々。物質の構造についてもモデルをつくり学習しました。また、付随して取り出すことのできる水素エネルギーについても、モデルカーを用いて走らせる実験を行いました。向陽中学校とJR和歌山駅との間にも水素ステーションができています。是非探してみてください。



オンライン講義



メタンハイドレート燃焼実験



水素カーでの実験

## 中1・2年生人権学習

1年生では18日に視覚障害について、和歌山県立盲学校から、平松智子先生と野尻誠先生をお招きし講義いただきました。目の不自由な方の生活全般にわたるお話を聴き、アイマスクをつけた人の誘導体験を行いました。休み時間には、野尻先生と向陽生による障害者用オセロ対決で盛り上がりました。2年生では12日に、県聴覚障害者協会の福田美枝子氏と手話通訳の酒匂美也子氏をお迎えして、聴覚障害について学びました。手話についての講座もありましたが、もっとも大切なことはコミュニケーションをとろうとする姿勢であることを教えていただきました。



アイマスク体験



講義と手話講座

